



東京都小学校道德教育研究会

令和8年8月21日

都小道研だより 第6号

～ 研究は厳しく、人間関係は温かく ～ 会長 星野典靖

1 はじめに

都小道研会員の皆様、充実した夏季休業をお過ごしになられましたでしょうか。

私は、今年が結婚 25 年目銀婚式になります。その記念に夫婦二人旅で「出雲旅行」を楽しんできました。「出雲大社(いずもおおやしろ)」は「縁結びの神様」として全国的に親しまれますが、ここでいう縁は、人と人、仕事、学びなど、さまざまな良縁を願う信仰として語られています。これからも、公私ともに様々な良いご縁がいただけるように願ってきました。

2 道德とのご縁をいただいた先生方について

今年度、都小道研の会長を務めている私の教員人生を振り返ると、本当に多くの方々とのご縁をいただき今があることを実感しています。しかし、道德とのご縁を考えたとき、お二人の先輩との出会いがなければ今の星野はなかったと断言できます。今回は、お二人の先輩とのご縁を紹介させていただきます。

まずは、教員1年目に所属校である福生市立福生第六小学校の教頭だった茂山吉秀先生です。茂山先生からは、「道德」の研究にかかわるきっかけになったご縁をいただきました。

市教研の所属する部会の希望調査がありました。いろいろ迷った末に、「歴史が好きだから社会科にしよう」と心に決めて一覧表に名前を書きにいきました。しかし、すでに道德部会の欄に「星野」の名前が書かれていました。それも万年筆で…。茂山先生には目をかけていただき、たくさん飲みにつれていってもらっていたこともあり、心を決めて道德部へ入部することにしました。茂山先生が、自分の名前を道德部の欄に書いていなければ、今ごろ何をしているのでしょうか。

もう一人の先輩は、当時は開進第一小学校にいらっしゃった土屋信行先生です。土屋信行先生には、道德とのご縁が爆発的に広がるきっかけをいただきました。

初任校での5年間の過ぎ、私は練馬区立大泉小学校へ異動しました。1年目は学校事情で教育相談を学ぶことになりましたが、異動2年目(平成9年度)はどうしても道德を勉強したいと考えるようになりました。そこで、お会いしたこともなかったのですが、お名前を存じ上げていた土屋信行先生に直接お電話で相談させていただき、晴れて練馬区道德部の一員に加えていただくことになりました。

そして、それから1年ほどの間に、①練馬区道德部の授業者、②都小道研研修部入部、③某副読本の編集委員、④道德指導研究会入会、⑤東京都教育研究員(道德)・地区発表会、⑥学大附属世田谷小への異動…。土屋信行先生のおかげでこんなにたくさん道德とのご縁をつくっていただきました。

余談になりますが、当時「電波少年」というテレビ番組が流行っていました。若手芸人たちが放送局のTプロデューサーに拉致されて過酷な企画にチャレンジをすることが大人気でした。ちなみに、このTプロデューサーの名前も“土屋”さんといいます。

3 TOKYO道德教育ミーティングについて

8月16日(日)時点で、事前申込者が現時点で60名を超えていると伺いました。初年度は50人、3年目には100人を個人的な目標と考えていましたが、当日参加の方を加えると70人近くになるのではないのでしょうか。多くの皆様のご縁をいただきながら、全小道研の三大事業のように、「定期総会・講演会」「TOKYO道德教育ミーティング」「臨時総会・講演会」を創り上げていきましょう。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。